

平成 11 年度学校保健統計調査速報（全国）

～子供のぜんそく過去最高に～

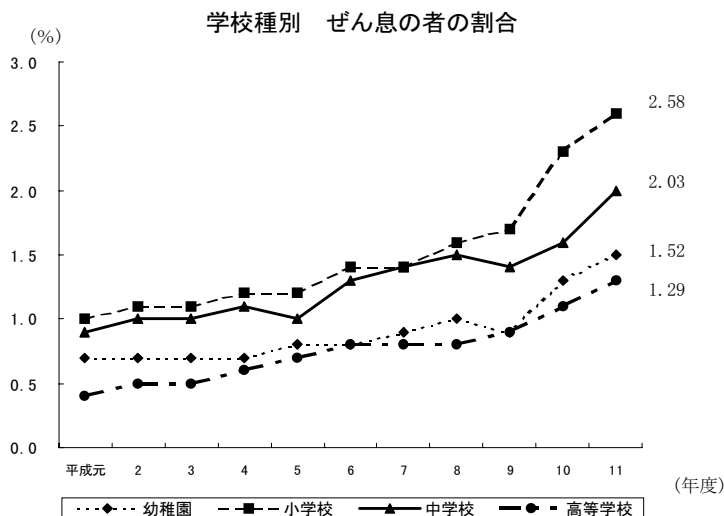
- 1 身長
男子の身長（全国平均値。以下同じ。）は、13 歳及び 14 歳の各年齢で過去最高。また、6 歳から 9 歳の各年齢で前年度より低下。
女子の身長は、11 歳及び 12 歳の各年齢で過去最高。また、その他の年齢では 9 歳及び 17 歳を除き、各年齢で前年度より低下。
なお、身長の推移をみると、過去の伸びに比べて鈍化。
- 2 体重
男子の体重（全国平均値。以下同じ。）は、10 歳、12 歳及び 14 歳の各年齢で過去最高。また 9 歳、11 歳、15 歳から 17 歳の各年齢で前年度より低下。
女子の体重は、9 歳、12 歳、14 歳及び 15 歳の各年齢で前年度の同年齢より増加し、9 歳、12 歳及び 14 歳の各年齢で過去最高。
なお、体重の推移をみると、過去の増加に比べて鈍化。
- 3 足の長さ（身長から座高を引いたもの）の身長に占める割合
昭和 44 年度（親の世代）と比較すると、男女とも各年齢で親の世代を上回っている。
また、14 歳以降では、男子に比べ女子の方が親の世代との差が大きい。

身長に占める足の長さの割合 (%)

区 分	幼稚園		小 学 校					中 学 校			高 等 学 校			
	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳	15 歳	16 歳	17 歳	
男	平成 11 年度 A	43.9	44.3	44.7	45.0	45.5	45.9	46.3	46.6	46.9	46.8	46.7	46.7	46.6
	昭和 44 年度 B (親の世代)	43.3	43.7	44.2	44.7	45.1	45.5	45.9	46.2	46.4	46.4	46.3	46.3	46.2
	差 A-B	0.5	0.6	0.6	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.6	0.4	0.4	0.5
女	平成 11 年度 A	44.0	44.1	44.6	45.0	45.4	45.8	46.0	45.9	46.0	46.0	45.9	45.9	46.1
	昭和 44 年度 B (親の世代)	43.3	43.7	44.2	44.5	45.0	45.3	45.6	45.5	45.4	45.3	45.3	45.2	45.2
	差 A-B	0.7	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.8	0.7	0.8	0.8

(注) 「足の長さ」は身長から座高を引いたものである。

- 4 裸眼視力 1.0 未満の者の割合
裸眼視力 1.0 未満の者の割合は、幼稚園 24.0%、小学校 25.8%、中学校 49.7%、高等学校 63.3%で、高等学校で過去最高。
また、視力矯正が必要とされる「0.3 未満の者」の割合は、年齢が進むにつれて上昇し、中学校及び高等学校で過去最高。
- 5 むし歯の被患率
この数年間におけるむし歯の被患率（治療済みの者を含む。）は、幼稚園 67.0%、小学校 80.8%、中学校 80.1%、高等学校 86.5%で各学校段階で低下。
なお、12 歳の永久歯の 1 人当たり平均むし歯（う歯）等（喪失歯及びむし歯）数が、2.9 本と初めて 3 本を下回る。
- 6 ぜん息の者の割合
ぜん息の者の割合は、幼稚園 1.5%、小学校 2.6%、中学校 2.0%、高等学校 1.3%で、各学校段階で上昇し、いずれも過去最高。なお、中学校では、初めてその割合が 2% を超える。



資料：文部省